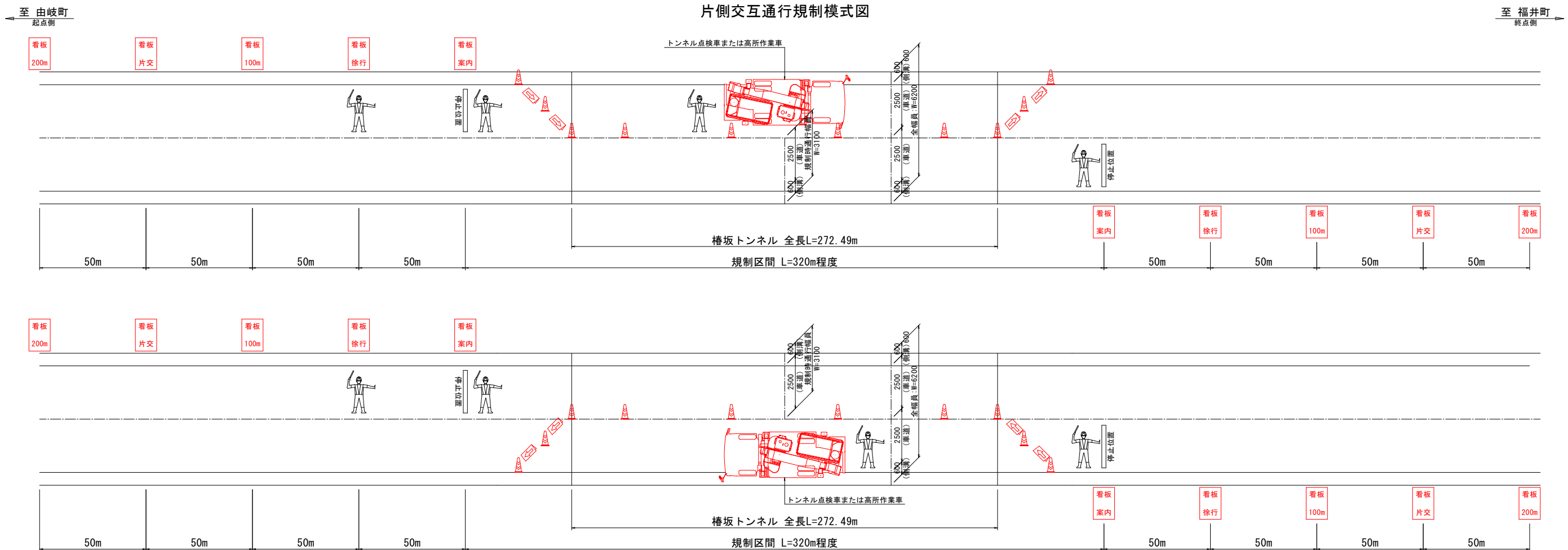


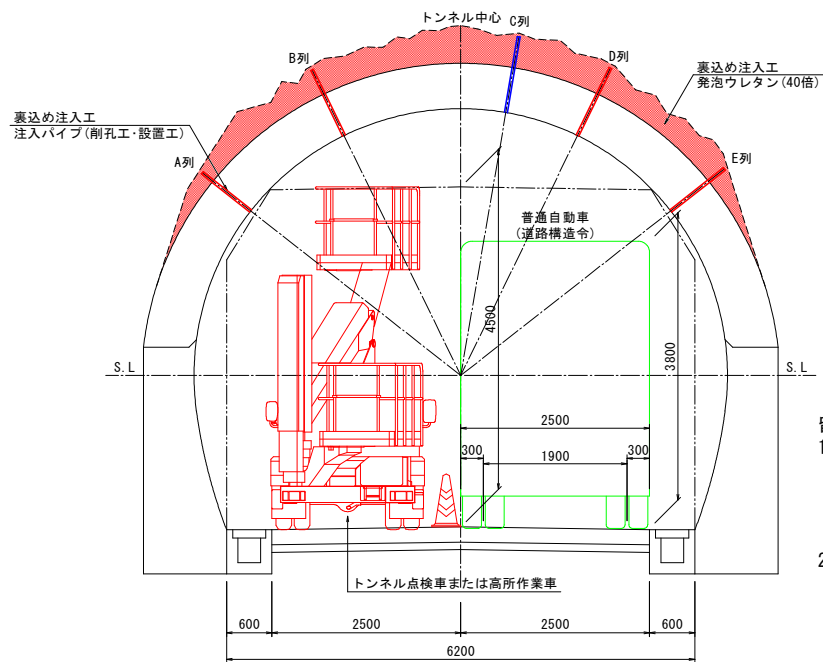
施工要領図
(参考図)

片側交互通行規制模式図



※ 交通誘導警備員は、4名以上必要。

標準断面図 S=1:50



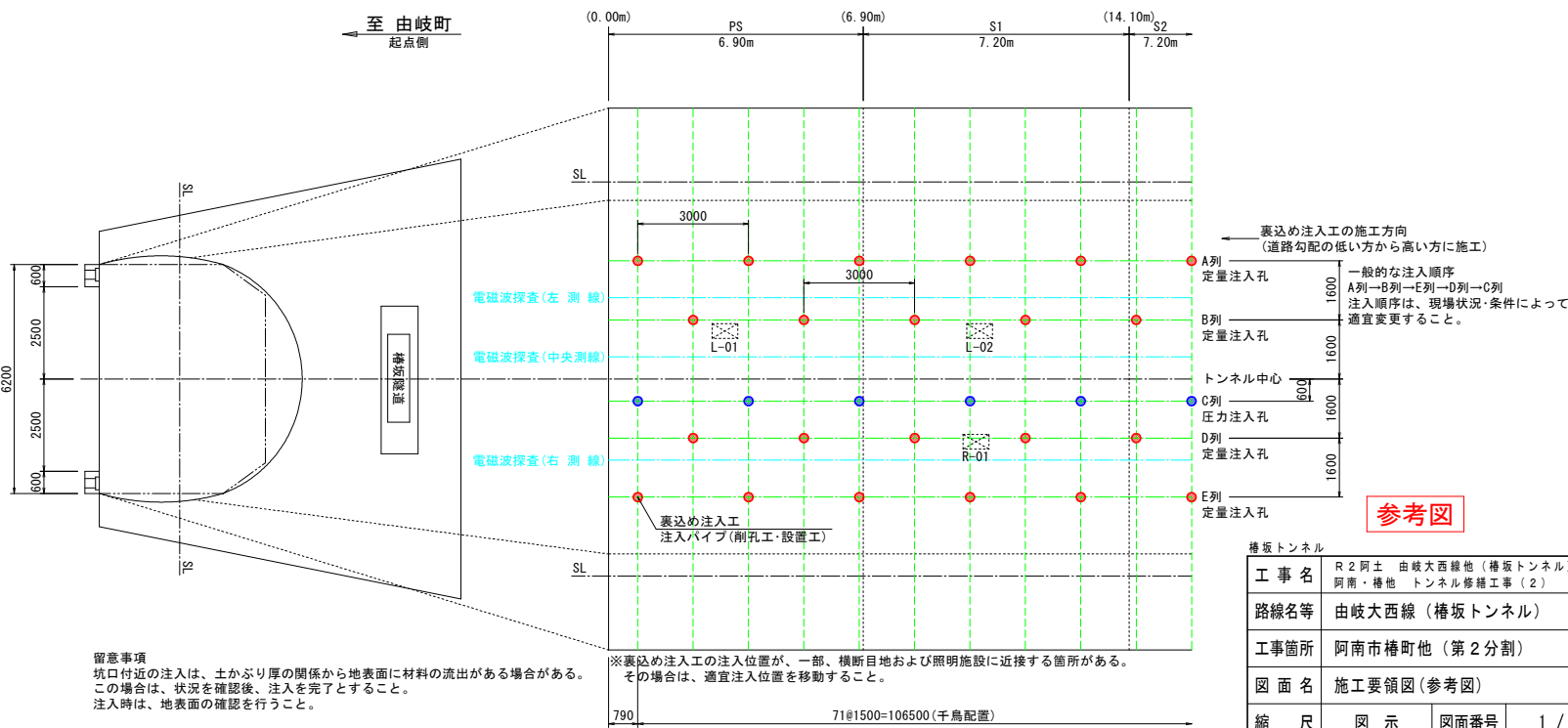
留意事項

- 片側交互通行規制
規制幅(施工スペース): W=2.5m以下とする。
規制延長は、安全を考慮してトンネル全区間とする。
阿南バスの運行時間を確認する。
- 覆工背面空洞対策の裏込め注入工
注入管削孔工・設置工・注入工は、各スパン毎に行う。
そのため、注入管削孔工・設置工時は、上り線・下り線を交互に規制して施工を行う必要がある。

注記

- 椿坂トンネルは、阿南バス、漁港トラック等の大型車が頻繁に通行する。
- 車道幅員がW=2.5m×2=5.0mと狭い。
- 片側交互通行規制中は、大型車の通行を考慮して、残幅員をW=2.5m以上確保する。
- 片側交互通行規制幅: W=2.5mは、ポストコーン等を含んだ幅とする。

覆工背面空洞対策展開図(抜粋) S=1:100



留意事項
坑口付近の注入は、土かぶり厚の関係から地表面に材料の流出がある場合がある。
この場合は、状況を確認後、注入を完了とすること。
注入時は、地表面の確認を行うこと。

※裏込め注入工の注入位置が、一部、横断目地および照明施設に近接する箇所がある。
その場合は、適宜注入位置を移動すること。

参考図

椿坂トンネル			
工事名	R2阿土 由岐大西線他(椿坂トンネル) 阿南・椿他 トンネル修繕工事(2)		
路線名等	由岐大西線(椿坂トンネル)		
工事箇所	阿南市椿町他(第2分割)		
図面名	施工要領図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	1 / 1
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<阿南庁舎>		